

2027年度神奈川工科大学編入学試験概要

1. 募集学部学科および募集人員

学部	学科	募集人員	年次
工学部	機械工学科(注:出願要件有り)	若干名	2、3年次
	電気電子情報工学科	若干名	2、3年次
	応用化学生物学科(注:出願要件有り)	若干名	2、3年次
情報学部	情報工学科	—	—
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	—	—
	情報メディア学科	—	—
	情報システム学科	若干名	2、3年次

※収容定員を充たしていない学科のみ実施します。

2. 編入学(転入学)および入学年次

入学年次 3年次または2年次

○事前審査において認定された単位が30単位を超えない場合は、原則として出願不可とする。
3年次生希望の場合は、原則として事前審査において認定された単位が62単位以上でなければならない。ただし、その場合においても2年次編入となる場合がある。

補足

○「編入学」とは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等を卒業後(卒業見込み含む)、本学に入学すること。

○「転入学」とは、大学に1年以上在学したうえで転出し、本学に入学すること。

○本学では、「編入学」に「転入学」を含めた総称として「編入学」と表記している。

3. 出願資格

次のいずれか一つに該当する者で、本学の事前審査にて出願可能と認められた者

- ①短期大学卒業者(見込みを含む)
- ②高等専門学校卒業者(見込みを含む)
- ③専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(見込みを含む)
- ④他の修業年限4年の大学の2年次または1年次を修了した者(見込みを含む)
- ⑤学校教育法施行規則附則第7条で認められた者(旧制学校の修了者等)
- ⑥高等学校の専攻科で「学校教育法施行細則及び学位規則の一部を改正する省令」(平成30年4月1日施行)に定める要件を満たすものを修了した者(見込みを含む)

(注)機械工学科および応用化学生物学科の出願要件

機械工学科および応用化学生物学科への出願は上記出願資格の他、英語の語学力に関してCEFR評価に適用されている英語検定のスコアを持っていること。

(2ページの6. 機械工学科・応用化学生物学科の編入学試験出願要件を参照。)

4.編入学試験検定料：10,000円

○支払い方法:銀行振込

振込先銀行:みずほ銀行 厚木支店

口座番号:(普通預金)1301975

受取人名:神奈川工科大学(カナガワコウカダイガク)

5.選抜方法

【工学部】

○筆記試験型:学科ごとに「面接」および「筆記試験」の結果で合否判定する。

【情報学部】

○筆記試験型:全学科

学科ごとに「面接」および「筆記試験」の結果で合否判定する。

○実績評価型:情報システム学科を除く

学科ごとに「面接」および「具体的な成果(実績や作品)の発表」の結果で合否を判定する。

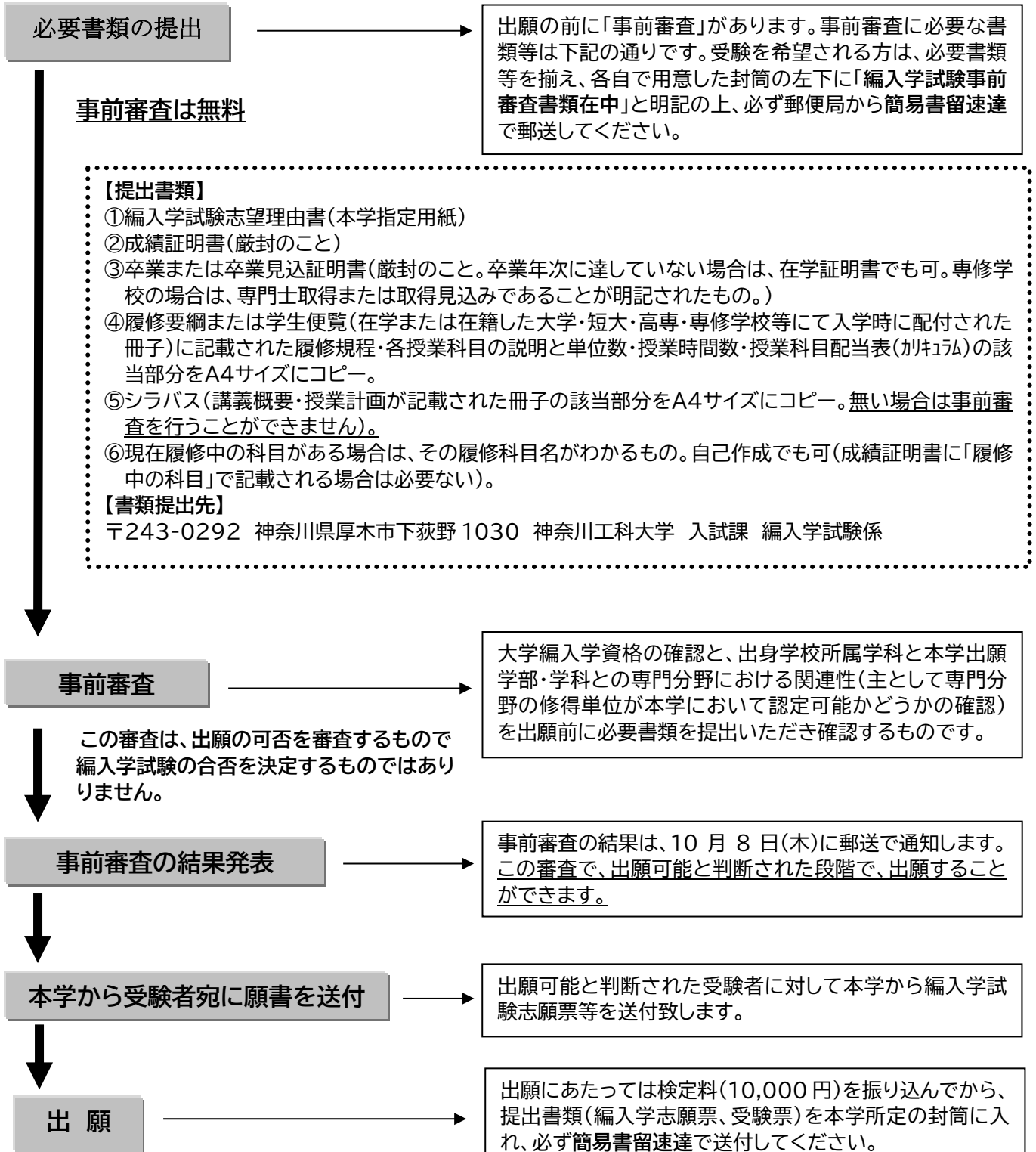
※「具体的な成果(実績や作品)」とは、コンピュータに関連した内容。

6.機械工学科・応用化学生物学科の編入学試験出願要件

出願時に、英語の語学力に関する実用英語技能検定や TOEIC、TOEFL などの CEFR スコア評価に認定されている検定試験のスコアを持っていること。(出願時に当該検定のスコアを提出できること)

出願までの流れについて

編入学試験を希望される方は、出願の前に「事前審査」があります。事前審査から出願までの流れについては、下の図でご確認ください。



※一旦納入された検定料は原則として返還いたしません。次の1～3の事由に該当する場合は、申請により検定料の返還を認める場合があります。なお、検定料納入の際にお支払いいただいた決済手数料は返還できません。また、返還に要する送金手数料はご負担いただきます。

1. 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合(出願書類提出後の取消しは認めません)。
2. 検定料を誤って納入した場合(検定料の二重払い等)。
3. 出願不備等により出願が成立しなかった場合(出願期間後に「出願、書類の不備、出願資格無し等」)。

※詳しくは入試課にお問合せください。(電話046-291-3000)

「筆記試験型」試験実施内容

【工学部】 機械工学科

◎筆記試験

「数学」、「力学」各2問計4問：90分間

(数学は微積分の基本的問題を、力学は物理学で扱う基本的な問題を中心に出題する。)

◎英語検定スコア：実用英語技能検定やTOEIC、TOEFLなどのCEFR評価に適用されている英語検定のスコアによる英語の語学力評価を行う。

※出願時に当該検定のスコアを提出できること

◎面接：20～30分間

人物評価を中心とする。(面接にて口頭試問は実施しない)

【工学部】 電気電子情報工学科

◎筆記試験

数学、電気回路、電気磁気学、電子回路の分野から計4問：90分間

各分野からの出題範囲は次の通り

◇数学：三角関数、指数関数、対数関数、微分積分の基礎

◇電気回路：オームの法則、直並列回路、キルヒホッフの法則、電圧・電流の瞬時値と実効値、位相、フェーザ図、L・C・Rよりなる直並列回路のインピーダンス・アドミタンス、交流電力。

◇電気磁気学：電界と電位差、静電気力、静電容量、電流と電気抵抗、電流と磁界の関係、電磁力、電磁誘導。

◇電子回路：トランジスタ・ダイオード機能、論理回路の基礎。

◎面接：30分間

人物評価を主とするが、基礎科目についての履修済内容を確認する程度の質問をする場合がある。

【工学部】 応用化学生物学科

◎筆記試験60分

「有機化学」「分析化学」「生化学」「微生物学」の4科目のうち、2科目を選択し解答する。

なお、出題は、以下のような基礎的事項が理解できているかを問うものである。

「有機化学」：構造および幾何異性体／有機化合物の命名法／官能基別の性質など。

「分析化学」：溶液の性質／化学反応と化学平衡／酸・塩基および酸化還元反応など。

「生化学」：糖・脂質・アミノ酸・核酸の構造や性質およびその代謝／酵素やビタミンなどの特性など。

「微生物学」：微生物の分類と特性／微生物細胞の構造と機能など。

◎英語検定スコア：実用英語技能検定やTOEIC、TOEFLなどのCEFR評価に適用されている英語検定スコアによる英語の語学力評価を行う。

※出願時に当該検定のスコアを提出できること

◎面接：30分間

人物評価を中心とするが、基礎科目についての履修済み内容を確認する程度の質問をする場合がある。

【情報学部】 情報工学科

- ◎筆記試験:90分間
基本情報技術者試験と同等レベルの内容の問題、およびC言語に関する問題。
- ◎面接:20～30分間
人物評価を中心とする。

【情報学部】 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

- ◎筆記試験:90分間
基本情報技術者試験と同等レベルの内容の問題、およびC言語に関する問題。
- ◎面接:20～30分間
人物評価を中心とする。

【情報学部】 情報メディア学科

- ◎筆記試験:90分間
基本情報技術者試験と同等レベルの内容の問題、およびC言語に関する問題。
- ◎面接:20～30分間
人物評価を中心とする。

【情報学部】 情報システム学科

- ◎筆記試験:60分間
「数学」および「英語」の基礎的学力の確認
- ◎面接:20～30分間
人物評価を主とするが、基礎科目についての履修済内容を確認する程度の質問をする場合がある。

「実績評価型」試験実施内容

情報学部で実施する「実績評価型」編入学試験は、1ページに記載の出願資格を満たし、さらに情報学部が「実績評価型」編入学試験で求める学生像に該当すると自分で考える者が対象となります。

● 情報学部各学科の「実績評価型」編入学試験で求める学生像

【情報工学科】

出身(在籍)学校においてコンピュータおよび関連技術に関することを学び、具体的な作品や成果を有しており、将来コンピュータに関わる分野で活躍したいと考えている人。

【情報ネットワーク・コミュニケーション学科】

出身(在籍)学校においてコンピュータやネットワークに関することを学び、具体的な実績や成果を有しており、将来コンピュータや情報ネットワークに関わる分野で活躍したいと考えている人。

【情報メディア学科】

出身(在籍)学校においてコンピュータやメディアに関することを学び、具体的な作品や成果を有しており、将来コンピュータや情報メディアに関わる分野で活躍したいと考えている人。

【情報システム学科】

出身(在籍)学校においてコンピュータやシステムに関することを学び、具体的な実績や成果を有しており、将来コンピュータや情報システムに関わる分野で活躍したいと考えている人。

◇事前審査時の書類提出について

「実績評価型」編入学試験で受験する人は、事前審査書類提出時に3ページに記載の書類と一緒に以下の具体的内容の『活動報告書』を作成し提出してください。

【情報工学科】

以下の自分のもつ具体的実績からひとつ以上を選択し、『活動報告書』を提出してください。

○下記に述べるような資格を有する。

- ・基本情報技術者、ITパスポート、応用情報技術者試験、工事担任者等の情報処理に関する公的資格。
- ・マイクロソフト認定資格のように企業が認定している資格。
- ・その他、情報処理推進機構(IPA)などの各種団体が実施認定している資格。

○コンピュータ言語を使ってアプリケーションシステムや作品を作成した経験がある。

○情報分野において、校内活動、地域活動などで顕著な活躍をした実績がある。

【情報ネットワーク・コミュニケーション学科】

以下の自分のもつ具体的実績からひとつ以上を選択し、『活動報告書』を提出してください。

- IT パスポート試験、基本情報技術者試験、工事担任者、無線従事者免許(特殊無線技士、アマチュア無線技士等)、応用情報技術者試験、ネットワークスペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士(情報セキュリティスペシャリスト)試験あるいはこれに類する資格を持っている
- コンピュータ言語を使ってアプリケーションシステムや作品を作成した経験がある。
- コンピュータネットワークやネットワーク応用システムを構築したことがある。
- 情報分野において、校内活動、地域活動などで顕著な活躍をした実績がある。

【情報メディア学科】

以下の自分のもつ具体的実績からひとつ以上を選択し、『活動報告書』を提出してください。

- 基本情報技術者、応用情報技術者、IT パスポート、CG検定などの情報処理またはメディアに関する公的資格、あるいは各種団体が実施認定している資格を有する。
- コンピュータ言語を使ってアプリケーションシステムや作品を作成した経験がある。
- コンピュータを使ってCG、映像、音楽などのコンテンツを制作した実績がある。
- 情報分野において、校内活動、地域活動などで顕著な活躍をした実績がある。

【情報システム学科】

以下の自分のもつ具体的実績からひとつ以上を選択し、『活動報告書』を提出してください。

- 下記に述べるような資格を有する。
 - ・基本情報技術者、IT パスポート、応用情報技術者試験、工事担任者等の情報処理に関する公的資格。
 - ・マイクロソフト認定資格のように企業が認定している資格。
 - ・その他、情報処理推進機構(IPA)などの各種団体が実施認定している資格。
- コンピュータ言語を使ってアプリケーションシステムや作品を作成した経験がある。
- 情報系コンテストやロボット競技会等において、校内活動、地域活動などで顕著な活躍をした実績がある。

◇書類選考と書類選考結果通知

本学において事前審査と並行して『活動報告書』をもとに書類選考を行います。書類選考の結果は事前審査の結果と一緒に郵送にて通知します。書類選考合格者は「実績評価型」編入学試験の出願が可能となります。

書類選考で不合格となっても「筆記試験型」編入学試験での出願はできます(事前審査の結果で出願不可となった場合は除く)。

◇「面接」と「具体的な成果(実績や作品)の発表」について

○情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、情報システム学科 4 学科共通

◇面接時間(プレゼンテーション時間含む):30~60分

◇内容

1. 志望動機、勉学目的、意欲の確認。
2. 情報学部の勉学に差し支えない程度の基礎学力の確認。
3. 事前に提出した『活動報告書』の内容に基づいて、パソコンを使用して、具体的な成果(実績や作品など)のプレゼンテーションを行ってまいります。作品等のデモンストレーションが可能ならば是非行ってください。その後、発表内容に関する質疑応答を行います。プレゼンテーションの時間は質疑応答を合わせて20分程度とします。
4. 受験者から本学への質問があれば受付けます。

《その他》

○ノートパソコン購入について

本学では、授業および自学習で使用するため、大学が推奨したノートパソコンの購入をお願いします。ノートパソコンの詳細については合格者にご案内しますが、既にノートパソコンをお持ちの方および事前に購入したい方、その他ご質問のある方は本学PCステーションへお問い合わせください。(TEL.046-291-3268)

以上